

東京都立淵江高等学校 令和3年度 国語科 小論文演習 年間授業計画

教科・科目	国語・小論文演習	単位数	2	対象学年・組	3年生
使用教科書					
使用教材	『2020 小論文頻出テーマ解説集 現代を知る plus』第一学習社 『2020 小論文頻出テーマ チェック&ワーク』第一学習社	教科担当者名		百崎	

学期	月	予定時数	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法
1 学 期	4	24	小論文の書き方 基礎・基本	1、グループワークを通して、以下の内容を目標に実施する。 (1) 自己の考えを発表する。 (2) 他者の意見を聞かせ、異なる見方を理解する。 (3) 多角的な視点を自分の意見としてアウトプットする。	①知識・技能 ・小論文に関する基本的な知識及び・技能。 ・常用漢字を書いたり、読んだりすること。 ②思考・判断・表現 ・授業中のアウトプット作業。 ・「書くこと」を中心として、自身の考えを表現している。 ③学びに向かう力・人間性等 ・言葉がもつ価値への認識を深ながら、言葉による見方・考え方を用いて、他者と関わろうとしている。
	5		小論文頻出テーマ 演習・解説①	2、授業終了時に、課題を必ず提出する。	
	6		小論文頻出テーマ 演習・解説②	3、提出された課題は、添削と評価をした上で返却して、振り返りの時間を取り、書き直しをする。	
	7		志望動機作成 ① 志望動機作成 ② 自己PRの作成	4、インターネットを使って、自分に必要な情報を、自分で得られるようにする。 5、小論文頻出テーマ演習を通じ、幅広い分野の知識を身に付けると共に、自身の考えを文章で表現できるようにする。	
	9		小論文頻出テーマ 演習・解説③	1、グループワークを通して、以下の内容を目標に実施する。 (1) 自己の考えを発表する。 (2) 他者の意見を聞かせ、異なる見方を理解する。 (3) 多角的な視点を自分の意見としてアウトプットする。	
	10		小論文頻出テーマ 演習・解説④	2、授業終了時に、課題を必ず提出する。	
	11		小論文頻出テーマ 演習・解説⑤	3、提出された課題は、添削と評価をした上で返却して、振り返りの時間を取り、書き直しをする。	
2 学 期	12	28	小論文頻出テーマ 演習・解説⑥	4、インターネットを使って、自分に必要な情報を、自分で得られるようにする。	同 上
	1		小論文頻出テーマ 演習・解説⑦	5、小論文頻出テーマ演習を通じ、幅広い分野の知識を身に付けると共に、自身の考えを文章で表現できるようにする。	
	2		課題型小論文 ①	6、与えられた課題を正確に読み取り、それを基に自身の考えを述べられるようにする。	
	3		課題型小論文 ② 課題型小論文 ③		
3 学 期	1	14	論文頻出テーマ 演習・解説⑧	1、グループワークを通して、以下の内容を目標に実施する。 (1) 課題分を要約させ、グループ内で比較する。 (2) 改良を加えた要約をアウトプットする。 (3) 様々な分野の課題文の論旨を共有する。	同 上
	2		小論文頻出テーマ 演習・解説⑨	2、課題文を読んで、意見を発表しあい、多角的な見方を共有する。 3、授業終了時に、課題を必ず提出する。	
	3		形式的な文章	4、提出された課題は、添削と評価をした上で返却して、振り返りの時間を取り、書き直しをする。 5、小論文頻出テーマ演習を通じ、幅広い分野の知識を身に付けると共に、自身の考えを文章で表現できるようにする。 6、与えられた課題を正確に読み取り、それを基に自身の考えを述べられるようにする。	
	4			社会に出てから必要とされる形式的な表現を使って、なつかつ内容のある文章を書く。	